



2012年 10月号



10号
TSUBASA

とり村回覧板

みんなで
回覧
してね♪

スポンサー募集 とり村住人ファイル⑧



えっちゃん

@キビタイボウシインコ

とり村の住人の中でも、かなりのお喋り
上手で、とても目立ちたがり屋さんです。
お客様が遊びに来ると、ここぞとばかりに
おしゃべりを披露してくれます。
詳しくは別紙をご覧ください。

~TSUBASA~

「The Society for Unity with Birds - Adoption and Sanctuary in Asia」
(鳥と調和のとれる社会 - アジアの里親とサンクチュアリ)

TSUBASA はインコ・オウム・フィンチと暮らす全ての方、そして動物愛護に関心をお持ちの
方に対して、より良いバードライフのご提案と適正な飼育の為の啓発活動を行っております。
また、様々な理由により手放されてしまった鳥達を引き取り (里子制度)、
新しい飼い主さんを探す (里親制度) 活動を行っております。
広く、皆様に活動を知っていただく事を目的とし本紙を発行しております。

TSUBASAは「人鳥社会の幸せのために」を
理念にレスキュー活動をする団体です
人・鳥・社会の幸せのために

レスキューのご報告と御礼

2012年7月中旬に、95羽の鳥たちをレスキューいたしました。たくさんの方々にご支援いただきました、今回のレスキューのご報告をさせていただきます。

劣悪な飼育環境により、営業認可を取り下げられた元ペットショップから、95羽の鳥達をレスキューしました。掃除やお世話を一切されていないと思われる元ショップの中、一つのケージに、たくさんの鳥たちが身動きの取れないくらい入れられて生活していました。そんな、暗く澁んだ空気の中での生活を強いられていた鳥たちをレスキュー出来たのは、一重に多くの動物保護団体様の協力体制のおかげです。日本の保護団体は、法的拘束力を持たないため、どんなに劣悪な飼育環境であっても、飼い主の許可なく動物を連れ出す事はできません。今回は、長期に渡る忍耐強い説得のおかげで、ペットショップの店主から許可を取り、多くの動物を救出することが出来ました。レスキューにより命を繋ぐことの出来た動物の数は、おそらく犬や小動物を含めると150匹近くまでのぼると思われます。



そして、私たちTSUBASAがレスキューした鳥達に対して引き取りの後に最大限のケアができた理由は、多くの方の募金をいただく事ができたからに他なりません。この場をお借りして、ご報告をさせていただきます。

【2012年7月31日～8月31日】
＜募金者数＞
536名様 6,802,629円(8月31日現在)
＜ボランティア様数＞
56名
誠にありがとうございました！

目を見張るほどの支援者様の数に、鳥たちだけではなく、私たちも、とても勇気づけられました。ひどい環境は、どうせ変わらない。そんな決めつけではなく、現状に異論を唱える事の大切さを痛感いたしました。そして、正しい意見がきちんとまかり通るような、そんな世の中になるようTSUBASAとして出来る事を考えるきっかけにもなりました。私たちはNPO法人として今後、法改正にも踏み入れられるよう、活動してまいります。

レスキューに関しての更に詳しい内容は、私たちのブログ「TSUBASAみらくる日記」にて、書かせて頂いておりますので、ご覧ください。

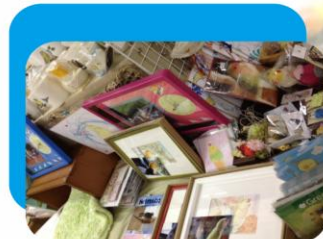
【支援の羽】

クリエイター様が自分の作品を無償でご提供くださり、その売上金額の全額をTSUBASAへのご支援としてくださる【支援の羽】
【支援の羽】は、もともとひとりのクリエイター様の「この作品をTSUBASAの鳥たちのために役立ててください」というお言葉から、始まりました。その後、95羽の小鳥たちのレスキューに際し、改めて、【支援の羽】の呼びかけを行ったところ現在までに約40名以上のクリエイター様からの作品ご提供を頂き、今でも新たにお申し出を頂いております。

元ペットショップからの95羽の小鳥たちのレスキューには、皆様から募金やボランティアなどで多大なご支援を頂きました。【支援の羽】も名前の通り、その中のひとつです。ご提供頂いたクリエイター様からも、作品をお買上頂いたお客様からも95羽の小鳥たち、TSUBASAへの、「がんばれ」というメッセージが込められているのをひしひしと感じました。

【支援の羽】のコーナーは今でも、いつでもご提供作品でいっぱいです。是非、クリエイター様の心のこもった作品を見にいらしてくださいね。そして、お気に入りを見つけて頂ければ嬉しいです。

とり村通販サイト【支援の羽】
<http://torimura.com/SHOP/26682/list.html>



もしもあなたが 悪質シヨップを見つけたら

動物たちのために
私たちに出来る事

皆様は、好ましくない環境や見るに耐えない環境で飼育されている動物やペットシヨップがあり、「どうにかしたい」、「助けてあげたい」と思った事はありませんか？
ここでは、そんな状況に出くわした時、どのような場所に相談したら良いかをご紹介しますと思います。

* 店主への訴え *

実際の動物達の状態やその場の環境を見たり、聞いたりしたご本人が、そのお店のできる限り立場のある方へ直接相談できると、より効果的です。お店側にとって、お客様からの訴えやクレームは、無視できないものです。とても勇気があることなので一番難しいかもしれませんが、一番早く解決につながります。

* 動物愛護相談センターへの訴え *

動物愛護相談センターは、人と動物の調和のとれた共生社会の実現に向けて、啓発や監査を行う機関です。実際に依頼のあったお店や施設へ立ち入り調査を行います。災害時の動物救援本部を開くなどの活動もしています。

動物愛護相談センターのホームページ：

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/douso/>

* 行政への訴え *

市、区、町役場、保健所、各都道府県庁などに相談して、動物愛護推進員や指導員を紹介していただきます。動物愛護法が改善され、ペットシヨップに対する審査の目は以前よりも厳しくなりました。やはり、現状を理解されたご本人の方からのご相談が効果的です。行政ですから、事情を考慮し匿名でも対応して下さると思います。

2012年6月、TSUBASAが95羽のレスキューを行う前にある女性から「悪質なペットシヨップがあるが動物たちを助ける事は出来ないか」という相談がありました。私たちTSUBASAはまだ法的な力が無いため、悪質なペットシヨップから動物を取り上げることはできません。記事に書かせていただいた内容をお話し、個人で飼育環境の改善を訴えていただきました。何度も店主や行政、動物愛護センターに訴えた結果、完璧とまではいきませんが、改善はみられたようです。これはとても勇気がある事ですが、少し声をあげるだけで救われる命があります。目の前の動物たちのため、誰かがやると思わないで、ほんの少しでも自分から勇気を出してみてください。

動物愛護ふれあいフェスティバル

2012年9月15日、スカイツリーの見える隅田公園で行われた動物愛護ふれあいフェスティバル（主催：（公財）日本動物愛護協会）にTSUBASAが初参加致しました。今年のふれあいフェスティバルのテーマは「見つめ直して、人と動物の絆」。TSUBASAの団体として、今年の7月に元ペットシヨップから95羽の鳥たちをレスキューしたばかりだったので、今回のこのテーマには何か運命的なものを感じました。ふれあいフェスティバルは鳥だけではなく、動物全般を対象にしたイベントなので、TSUBASAのブースではTSUBASAの活動紹介はもちろん、鳥を知らない方々向けに鳥の



適切な飼育方法を知っていただくための展示をしました。しかし、思った以上にTSUBASAの事を知っていただけている方が多く、伝える立場の私たちが、逆にお客様や他の団体の活動に触れ、気づかされる事が多くありました。今回のイベントで、一人でも多くの方がTSUBASAの事を知ってくださり、鳥だけでなく、動物たちの幸せとは何かを考えるきっかけになればと思います。来年も参加予定ですので、今年のふれあいフェスティバルにお越しいただけなかった方は、2013年のふれあいフェスティバルに、是非お越しください。

今後、「人、鳥、社会の幸せのために」の理念の下、幸せが一つでも増えるように努めてまいります。



TSUBASAブース

獣医さんに聞いてみよう！

これからの季節にご用心！？

鳥のクラミジア症



皆さんは、クラミジア症という病気をご存知ですか？2012年6月に、とり村で行った調査では70%以上の方がご存知でした。さらにたくさんの方に知っていただけるよう、ここで獣医さんに聞いてみたいと思います。



ひめ@オカメインコ

こんにちは。獣医のひめ@オカメインコ（代筆：獣医師の河村）です。暑かった夏が終わり、最近はいよいよ過ごしやすい季節になってきましたね！これから寒い冬を迎えるに当たって、僕たち鳥が毎日を元気に生活するためにたくさんの気を付けないといけない事があります。その一つがクラミジア症。鳥のクラミジア症は、**4月と11月に発生が多い**と言われているんだ。健康なみんなも、今のうちから気を付けないといけないよ。



チーズ & ケーキ @オカメインコ

先生、質問です。
鳥のクラミジア症ってよく聞くけどどんな病気なんですか？
僕達は何を気をつけたらいいのでしょうか？



クラミジア症は、**人にも鳥にも感染する病気**なんだ。
鳥が発症すると、元気や食欲が無くなったり、下痢や呼吸器症状、ライムグリーン色の尿酸が見られることがあるよ。また、発症している状態だと人に病気がうつる可能性があるから、注意が必要だね。みんなも、大好きな飼い主さんにうつしたら大変でしょう！？
ちなみに人の場合、この病気のことを**オウム病**とも呼んでいて、インフルエンザのような症状が見られるんだ。
このクラミジア症は日和見感染症なので、体調不良やストレスが引き金になって発症するから、僕たち鳥も寒い季節に発症することが多いんだよ。
だからこの季節は、**病院で検査をして、問題が無いか確認をしておく**と安心だよ！
検査は遺伝子検査って言う難しそうなんだけど、実際は僕たちのウンチを取って検査するだけだから、命の危険もないし、痛いことも何もないんだ。だから安心してね。
一度、陰性と診断されても、いつ、この病気にかかるか分からないから、少なくとも一年に一回は病院で検査してもらおうね。



なずな@セキセイインコ

検査をして問題が無かったら、人や他の鳥さんにうつる心配が無いから、安全に遊べるってことだね！
ところで、レスキューした鳥さんたちから、このクラミジアが出たという話を聞いたけど、僕たち大丈夫かな？



TSUBASA では、レスキューした鳥には必ず45日の検疫期間があるんだ。
この期間は、レスキューされた鳥から、元々TSUBASAにいる鳥たちに、病気がうつることがないように、空気が交わることもない、別のお部屋で暮らしているんだ。スタッフも、レスキューした鳥のお世話は別のお風呂に入ったり、足裏を消毒したりと、別のお部屋に病原体を持ち込まないように工夫しているから、感染が広がることはないんだよ。
病気だった鳥さんはお薬を飲んで、その後の検査で陰性になったことを確認しているから、みんなにクラミジア症をうつすことはないし、他の鳥たちと一緒に遊んでも大丈夫だよ！
今回の件で、**ペットショップにはこういった病気の危険性がある**ということが分かったね。
だから、飼い主さんに、ペットショップのような鳥がいる場所に行った後は、お家の愛鳥さんと遊ぶ前に、少なくとも手の消毒、可能ならばお風呂に入ると安全だって教えてあげてね。

TSUBASA の鳥たちは年に2回、4月と11月に必ずクラミジア検査を行って問題のないことを確認しています。皆様も是非検査をおこなって、安全で楽しいバードライフをお過ごしください♪



愛鳥家さんこんにちは！

今回は

三浦様とオカメインコのシェイシェイちゃんです。シェイシェイちゃんは2011年12月までTSUBASAで暮らしていました。当時は人にあまり慣れておらず手に慣れるトレーニングの真最中でした。

そんなシェイシェイちゃんは本号発行のちょうど1年前にあたる2011年10月のMTBで三浦様と出会い家族として迎えていただきました。そんな、シェイシェイちゃんとの日々を三浦様にお聞きます！



シェイシェイちゃんを引き取ると決めたきっかけは？

手乗りではなく、手を嫌がると思っていたシェイシェイが初めて会ったMTBの当日に旦那の手に乗り指の上で寝てしまったことがきっかけです。手乗りでもない子が…。と、うれしくて家の子に迎えたいと思いました。自分でケージから出てこないことも、家の子と一緒に過ごすうちに、外の楽しみを見つけてくれるかな？と特に気にしませんでした。

家族になってからの毎日はいかがですか？

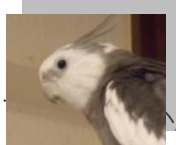
最初にとり村さんで聞いて、実際に接したシェイシェイと、家に来てからのシェイシェイは本当に同じオカメ？と思うくらい全然違います。家に来てすぐ、なみ@オカメ(♂)に求愛を始めたのには驚きました。そんな、なみの影響か、すぐにケージから出て来るようになり、今でも毎日、うきょうきょ楽しみながら飛び回っています。一度放鳥するとなかなかケージに戻って来ませんが、粟穂を見せるとすぐにケージに入ってしまいう食いしん坊シェイシェイです。他にも、外が好き、ドライブが好き(ずっと外を静かに眺めていて、カバーをかけると騒ぎ出す)、なみ@オカメと破壊活動が好きなど、この一年でシェイシェイの新たな魅力をたくさん見つけました。ただ、手が嫌いあまり変わらないのですが…。でも、最近はお飯を変えるときに手に攻撃をしてくることがあります。前は逃げ回っていたのに、と少しの嬉しい変化です。

最後に、皆さんに一言!!

環境によって、その子の性格などが本当に変わるのかと毎日驚きながら過ごしています。なみ@オカメがいなかったら、シェイシェイの今の性格も違っていただかもしれません。今はもうシェイシェイがいらない生活は考え

られないくらい家の子になっています。

まだ一年が経っていないのが不思議なくらいです。



シェイシェイに続け！

とり村でのMTB

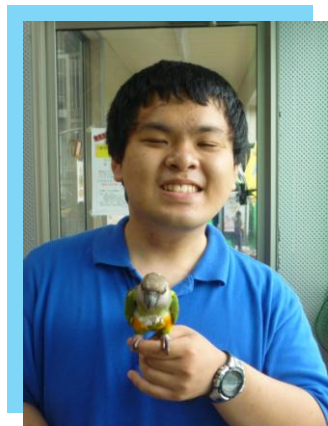
2012年10月のMTB(里親会)にて、とり村でのMTB開催が一周年になりました。TSUBASAがとり村に移動してからのMTBで巣立った鳥の数は、2012年10月現在で、なんと33羽。大型から小型までたくさんの鳥たちが、それぞれの素晴らしい家族と出会う事が出来ました。これからもTSUBASAの鳥たちが一羽でも多く幸せになってもらいたいと思います。家族が見つかったみんな、バードランでまた会いましょう。



2012年に巣立った鳥	羽数
セキセイインコ	22羽
オカメインコ	5羽
タイハクオウム	1羽
ズグロシロハラインコ	1羽
アカハラハネナガインコ	1羽
コザクラインコ	1羽
キエリボウシインコ	1羽
ヨウム	1羽

スタッフより こんにちは～！

9月よりNPO法人がスタートし、今まで一緒だったスタッフがNPO法人と株式会社ドリームバードに分かれました。(詳しくはP7をご覧ください。)ですが、私たちの理念である「人、鳥、社会の幸せのために」は変わりません。そんな私たちに今年、新たな仲間が加わりました。2人の所属はドリームバードですが、ここで皆様にご紹介したいと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。



はじめまして、こんにちは。

3月21日に入社いたしました。ドリームバードの神永智也と申します。

とり村では、入社前から研修を何度もやってきて、鳥さんの名前や種類を段々と覚えてきました。今は、鳥たちとコミュニケーションをとりながら毎日仕事をしています。鳥さんと呼んで、おしゃべりすることが楽しいです。主に2階の掃除をしております。鳥たちのお世話は大変ですが、やりがいがある仕事です。今後は、鳥のお世話だけでなく、お店の商品の名前を覚えていきたいです。どうぞよろしくお願い致します。



はじめまして。3月より、WEBページ制作担当として入りました、高橋と申します。今までは紙媒体の広告等を作ってきましたので、WEBページ制作はまだ勉強中ですが、解りやすいホームページ作りを目指して、皆様に足を運んでいただけるページを作りたいです。鳥が大好き！な気持ちを生かして、通販サイトやPOP等も作れるように頑張りたいと思っています。社内で見ること、聞くこと。皆様の愛鳥さんのお話や、お写真。すべてが勉強になります！

愛鳥さんのお話や、HPの「ここ解りにくい…」や、「こんな情報が欲しい…」等のアドバイスをお聞かせくださると嬉しいです。どうぞよろしくお願い致します。



お待たせしました
11月上旬販売開始します

愛鳥
はなまる
ごはん

鳥愛

TORIAI

試作と試食を繰り返しました



「愛鳥さんにベストな食事を」との思いで、人の試食はもちろん鳥たちにも食べてもらい、完成しました。現在販売されているペレットを食べている時と、鳥愛の試作を食べている時の血液の状態や羽の様子、飲水量等々様々な観察を行い、より安全で、より健康的なごはんにしました。もちろん、鳥たちにおいしく食べてもらえるよう、形や色も、試食を行うことで鳥たちに好きなものを選んでもらいました。繰り返された、試作の裏には、鳥達の影の努力があります。

お家の愛鳥さんにも気に入ってもらえると嬉しいです。

やめられない、とまらない!?

「鳥愛」は選び抜かれた人間用の食材を使用しています。そのため、私たち人間も安心して口にすることが出来ます。大切な愛鳥さんのご飯に、またコミュニケーションの時間に、飼い主さんも一緒に食べられる、安心の食事をお届けします。鳥さんはもちろん、ぜひ、飼い主ご試食してみてください。香ばしい香りとともに、鳥への愛、そして広大な畑にたくましく実った食材の味が一杯に広がっていきます。ちょっとクセになる味かも(笑)

NPO 法人 TSUBASA 設立のご挨拶

いつも TSUBASA をご支援いただきまして、誠にありがとうございます。

飼い鳥の保護団体 TSUBASA は 2000 年 3 月 21 日に設立し、おかげさまで今年で 12 年目を迎えることができました。これもひとえに、TSUBASA に関わりをもってくださいました方一人一人のご支援、ご指導、ご尽力があったからこそと心より感謝申し上げます。この場をお借りいたしまして、皆さまに厚く御礼申し上げます。

そしてこの度、TSUBASA は 2012 年 8 月 30 日付けで法人格を得まして NPO 法人 TSUBASA として活動を開始いたしました。

組織としてどのような形態がわたくしたちの理念である「人・鳥・社会の幸せのために」に少しでも近づけるのか、これまで模索してまいりました。そのような中、今年の 4 月に NPO 法改正を受け、これまで狭き門と言われていた認定 NPO 法人の取得要件が見直されたことにより、2014 年には認定 NPO 法人を取得することを目指して、この度、その前段階として NPO 法人の認証を得ることとなりました。

認定 NPO 法人となりましたら、ご支援いただく方々にも大きなメリットがあり、また、社会的信頼性が向上し、企業や行政とも協働しやすくなります。

2010 年に某動物園前に遺棄された 47 羽のセキセイインコたちを保護した時もそうでしたが、今年 7 月末に劣悪な環境の元ペットショップから 95 羽の鳥たちをレスキューした際も、店主に対して法的措置がとれないことに苛立ちと無力さを痛感しました。

これまで同様、一般の愛鳥家の皆さまに対して適切な飼養環境に関する教育啓発活動に力を入れていくことはもちろんですが、将来的に、動物愛護法を変えていけるだけの力を身に付けてまいりたいと考えております。

NPO 法人は非営利活動という認識が世間一般ではありますが、活動するためには資金が必要になります。鳥たちのお世話や治療、TSUBASA を存続させ、運営していくためには膨大な費用がかかります。目的を達成するために、定款に記された範囲内であれば営利活動も許されていることから、今後はより一層、幅広い活動に取り組んでまいりたいと考えております。

尊い命と関わり合っていくためにもわたくしどもも邁進していく必要がございます。そして、多くの愛鳥家の皆様の飼養に関する知識の底上げ、ひいては愛鳥さんたちの心も身体も豊かな暮らしの手助けになっていけるよう様々な展開が必要不可欠です。これを実現させるためにも、今後とも皆さまお一人お一人のお力添えをいただけましたら大変心強い次第であります。

組織としての次なる目標は、認定 NPO 法人を取得することですが、これは『人・鳥・社会の幸せのために』を実現するための単なる手段であると考えています。

最後になりますが、TSUBASA 創設者である松本は、株式会社ドリームバードの代表取締役社長を務めていることから、NPO 法人 TSUBASA の代表理事は柴田が務めさせていただくこととなります。

しかし、松本はこれからも TSUBASA を支援していく立場は変わりません。

そして、NPO 法人 TSUBASA の職員は総勢 4 名で、200 羽以上の鳥たちをお世話してまいります。

未熟な私たちではございますが、精一杯頑張っております。

今後とも、これまで同様のお引き立てを賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社ドリームバード
代表取締役社長 松本 壮志

NPO 法人 TSUBASA
代表理事 柴田 祐未子

TSUBASA 会員募集開始！！

TSUBASA の趣旨をご理解いただき、その活動に賛同して下さる方を募集しております。
入会時には鳥の世話情報や海外の飼養関連情報が詰まった教育パックをお届けいたします。会員年度は1月から12月まで。途中入会も可能です。

- 【特典】
- ・各種イベントの割引+優先予約ができる
 - ・HP内の会員専用ページを閲覧できる
 - ・各種情報をいち早くお届け
 - ・入会時に教育パックをお届け

詳しくはTSUBASAのホームページ <http://www.tsubasa.ne.jp/>
または Email : tsubasa0615@gmail.com までお問い合わせください。

ボランティア協力をお願い

2012年10月現在、7月に大規模レスキューがあったこともあり、TSUBASAの施設には200羽以上の鳥たちが生活しております。里親会が行われ、多くの鳥たちがTSUBASAから巣立って行きましたが、TSUBASAへ引き取られる鳥は後を絶ちません。そのため、一羽一羽のケアをより多くすることが出来るよう一緒に鳥のお世話をして下さるボランティアさんを募集しております。私たちのブログ「TSUBASA みらくる日記」にて募集させていただいておりますのでお時間がある方はお力をお貸しください。

編集後記

こんにちは、津田と申します。回覧板をご覧いただき、誠にありがとうございます。なんとか、10月中に発行することができ、一安心しております。今号も皆様にとって、少しでもお役にたてる部分があれば嬉しい限りです。9月より、NPO法人としての活動を開始し、とり村内も様々なことが変わりました。ドリームバードと業務が分かれ、TSUBASAスタッフの人数が減り、一人の作業が増える中、今まで以上にたくさんの方々にご支援いただき、本当に私たちは皆様に支えられているのだと感じました。私たちの活動は私たちスタッフだけではなく、皆様がいて初めて、行う事が出来ています。今後も、たくさんの方に私たちの活動を知っていただき、一人でも多く、一羽でも多くの幸せにつながっていただけるように努めてまいります。また、次号も読んでいただけたら幸いです。

それでは、次回号をお楽しみに～！



TSUBASA

●営業時間

1階 10:00～17:00
2階 11:00～15:00
(大型部屋のみ 11:00～13:00)

●定休日 毎週木曜

(木曜日が祝日の場合は通常営業)

●所在地 埼玉県新座市中野2-2-22

●最寄駅 東武東上線「柳瀬川駅」から徒歩約25分

(土)(日)(祝)は、

11:00、12:00、13:00、14:00に定期便を柳瀬川駅東口より運行しております。平日と休日の該当時間外は、事前に送迎のご予約をお願い致します。

TEL : 048-480-6077

FAX : 048-480-6078

E-mail tsubasa0615@gmail.com

写真de 4コマ漫画

小さな世界



「とり村回覧板11号」は2013年1月に発行予定です。お楽しみに！

お願い

「とり村回覧板」を置いて下さる、施設並びに動物病院を募集しています。興味をお持ちの方はTSUBASAまでお問い合わせください。

【発行元】

NPO法人TSUBASA

柴田 祐末子 (編集責任)
津田 佳枝 (編集長)
涌井 智美
河村 千里

株式会社ドリームバード

神永 智也 庭野 真吾
望月 健人 御堂 明日美
高橋 麻由美

【発行】 2012年10月